

基本理念

交野は、いつのときもだれもが大切に市民憲章として「和」(自然と、文化と、人と)を掲げています。この精神をしっかりと受け止め、みんなの“かたの”基本構想をまとめるにあたって、これから12年間の“かたの”の基本的な価値のものさしとなる理念を次のように確認します。

【あじわい・なりわい・にぎわい “みん活”でわいわいわいと “かたのサイズ”なまち暮らし】

“かたのサイズ”とは？

一人ひとりのサイズがつながってまちを形づくる、それが“かたの”のサイズです。自らをよく知り、味わい、活動し、楽しみながら、みんなで夢に向かって“かたの”の身の丈を大きくしていきましょう。

【自らのこと：ほどよさ】

自らの良さをよく知り、いまあるものを大切にします。身の丈に合った暮らしがほどよいことに価値を求めます。

【他との関係：さりげなさ】

おしつけでない、ちょっとした心遣いやしつらえの心地よさが、気がつけば無理なく広がっている、そんなさりげないつながりに価値を求めます。

【あじわい】

離れて思うと、心にしみこんでいて忘れがたいふるさと。そんな五感を通した“かたの”ならではの味わいが、まちのあらゆる場面にしみわたることに価値を求めます。

【なりわい(生業)】

暮らしていく上で必要な活動が、かつてのように、自然と社会が無理なく調和する程度に、いくつも生まれて、つながっていくことに価値を求めます。

【みん活】

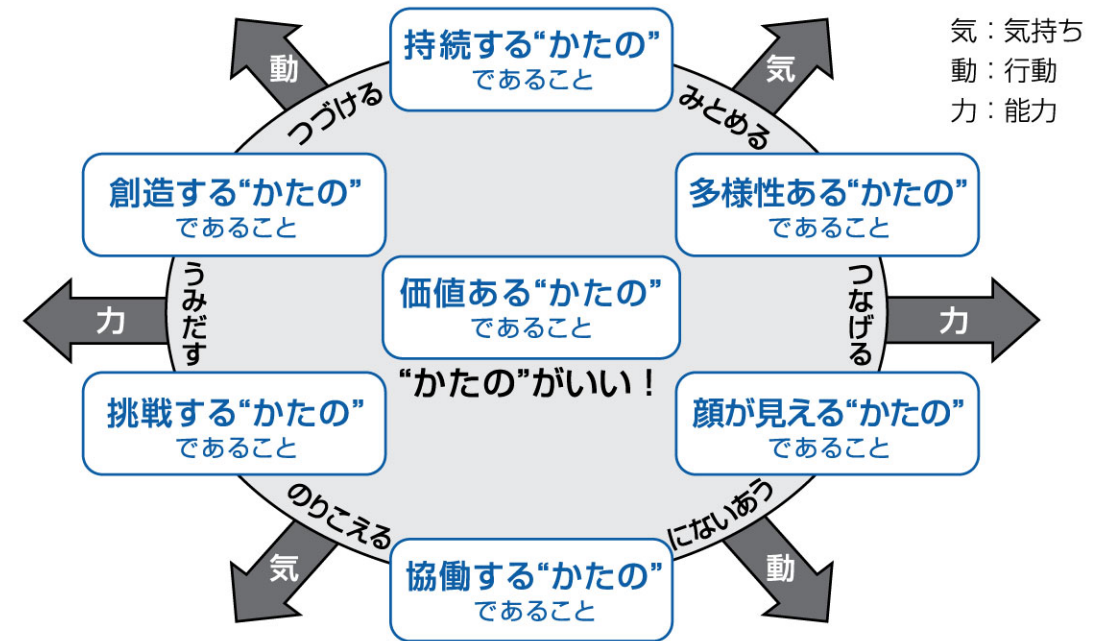
みんな少しずつ活動し、みんなが活躍し、みんな活用していく。何かの力に依存せず、みんなで楽しく一歩ずつ、みんなの活力がつながって、大きな力となることに価値を求めます。

【まち暮らし】

一人ひとりの暮らしのあり様が、“かたの”というまちのあり様とほどよく、さりげなくつながっていることに価値を求めます。

行動指針

多様な担い手の行動が、“かたの”としての大きな動きとなって進んでいくためには、ありたいと願う姿とともに、個々の行動にあたっての基本的な指針を共有することが大事です。このため、どのような気持ちを持って、どのように行動し、どのような力を発揮するかを“かたの”行動指針として定めます。



【多様性ある“かたの”】

まずは自分自身を認め、そして周りのものを認めること。自然界も含め、多様性があることを大事にする気持ちをもって取り組みます。

【顔が見える“かたの”】

多様なもの同士が認め合うために、相互に顔が見え、心を通わず関係を育むこと。さりげないつながりを生み出していく力を発揮します。

【協働する“かたの”】

顔が見える関係性の中で、多様性を尊重して進むために、向かう先を共有し、相互に開かれた対等な関係を保ち、それぞれができることを担い合って行動します。

【挑戦する“かたの”】

できることを担い合うときに、はじめからできないとあきらめることなく、成長するためにも多少は挑戦してみる気持ちをもって取り組みます。

【創造する“かたの”】

挑戦するときには、あるものやつながりを活かし、新たな工夫や思いがけない出会いなどによって、楽しく創造していく力を発揮します。

【持続する“かたの”】

創造を楽しく育みながらも、大切にすべきものを決して失うことのないよう、身の丈に合わせた、ほどよく、持続可能な形で行動します。

